

がんばろう日本

～亀岡市は東日本の復興を支援します～

December.2015

広報No.632

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

	平成27年 11月24日現在	平成26年 11月25日現在
人口	90,989人	91,629人
内 男	44,312人	44,650人
女	46,677人	46,979人
世帯数	38,239世帯	38,001世帯

主な内容

- 1ページ 市民力で未来を拓く!
- 2・5ページ 皆さんと一緒に振り返る2015年
- 3ページ 深い敬意と感謝の意を表して
- 4ページ ふるさと亀岡のまちづくりへの思いを託し
- 6ページ 心と心、笑顔でつなぐ など

市民力で 未来を拓く!

たかひろ
～桂川孝裕第7代亀岡市長が就任～



就任のあいさつをする桂川市長

11月1日に行われた亀岡市長選挙で、市民の皆さんの大きな信託を受けて初当選を果たした桂川孝裕市長が、9日、第7代亀岡市長として初登庁しました。

桂川市長は、常に挑戦し続けて「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現を目指したいと、新しい時代の舵取りを担うにあたっての決意を示しました。

かめおか・未来・チャレンジビジョン 「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現

子育て・教育で憧れのまちに（子どもの未来づくり）

- ・ 出産・子育て環境の充実を図ります
- ・ 教育環境の充実を図ります
- ・ 生きる力・個性を伸ばす人材を育成します

健康・観光・環境で賑わいのまちに（賑わいの街づくり）

- ・ 亀岡まるごとスタジアム構想に取組みます
- ・ 国内外からの観光客誘致と亀岡ならではの観光の創出を図ります
- ・ 市民力による賑わいづくりに取組みます

住環境、自然環境をより向上させるまちに（豊かな環境づくり）

- ・ 世界に誇れる環境先進都市（エコロジックミュージアムの創造）の推進を図ります
- ・ 花と緑の庭園都市（ガーデンシティ）で憧れのまちをめざします

歳をとっても安心して暮らすことのできるまちに 安全安心な地域づくり（福祉・医療）

- ・ 生活環境の安全安心の充実を図ります
- ・ 地域医療との連携による安心な暮らしを守ります
- ・ 高齢者が安心して暮らせる環境の整備充実をめざします
- ・ 「障がい」がある人もその親も安心できる地域づくりを創出します

連携により経済成長のできるまちに 新たな魅力づくり（経済成長）

- ・ 雇用の創出による地域の活性化を図ります
- ・ 連携による魅力づくりを図り、新たな産業の創出をめざします

地域ブランドによる誇りあるまちに（付加価値の高い農産物づくり）

- ・ 京都・丹波・亀岡ブランド推進とその魅力づくりに取組みます
- ・ 農産物の発信拠点づくりの確立をめざします

安心できる都市基盤整備が整ったまちに（暮らしやすい基盤整備づくり）

- ・ 災害に強いまちづくりを推し進めます
- ・ 交通渋滞緩和のための基盤整備を図ります
- ・ 市街化調整区域や白地地域の活性化対策に取組みます
- ・ 公共インフラ整備の促進を図ります

市民目線のまちに 信頼できる役所づくり（行財政改革）

- ・ オープンで公正な運営に努めます
- ・ 市民サービス向上にむけて無駄を省き、使いやすい公共施設をめざします
- ・ 市長自らが亀岡市の広報活動を行い、発信力の向上を図ります

11月9日、多くの市民や市職員が出迎える中、桂川市長は亀岡市役所に初登庁しました。職員から歓迎の花束を受け取ると、大きな拍手に笑顔で応えながら正面玄関前に進みました。

桂川市長は、就任のあいさつで「亀岡市制60周年となる節目に、亀岡市長として就任させていただきます。

今、亀岡市が直面するさまざまな課題を捉え、私たちは何をしなければならぬのか、市職員の一人ひとりがその思いを持ちながら、挑戦し続けてほしいと思います。

そして『選ばれるまち』・『住み続けたいまち』を目指し、新たな亀岡を築いていきたい

と思います。ともに切磋琢磨していきましょう」と市職員に思いを伝えました。

市職員を代表して歓迎のあいさつをした湯浅副市長は、「亀岡市が持つ強み、魅力を最大限に活かし、市民力によるまちづくりを進めていく所存です。そして、第4次亀岡市総合計画「夢ビジョン」後期計画案、亀岡市総合戦略案に加え、市長が掲げられる『かめおか・未来・チャレンジビジョン』による亀岡の新たな幕開けに際し、これまでの取り組みにさらに磨きをかけていきたいと思えます」と述べ、職員一同は新しい時代のまちづくりに向け、決意を新たにしました。

去る11月1日の亀岡市長選挙では、多くの市民の皆さんから信託をいただいて初当選し、亀岡市制60周年の節目に第7代亀岡市長として就任させていただきました。

亀岡市職員の皆さんには、市政の推進のために日頃から尽力をいただいていることに感謝を申し上げます。今、亀岡市が置かれている状況を考えると、皆さんの力が本当に必要であると思っております。特に、平成13年をピークに毎年、400人から500人が減少し、9万1,000人を割ろうとしている亀岡市の人口や、市内の工業の売り上げが年々、低下しているのを見て、私たちが

今、私たちが何をすべきかを考え、挑戦を

何をしなければならぬのか、市職員の一人ひとりがその思いに立ちながら、しっかりと考えてほしいと思います。私は、今回の選挙で、「市民力で未来を拓く!」をスローガンとして掲げてまいりました。

そして、『選ばれるまち』・『住み続けたいまち』の実現のためには、皆さんの英知と勇気と力が必要であります。そして、何よりも「挑戦する」市役所職員であってほしいと思えます。一緒に切磋琢磨していきましょう。亀岡の新しい時代を、皆さんとともに進めていきたいと思えます。これからよろしくお願いいたします。

(初登庁あいさつ要旨)